

交換留学最終報告書

2019 年度長期交換留学
中国、北京聯合大学旅游学院
高知県立大学 文化学部 文化学科
173036 川村美乃莉

2019年9月1日～2020年1月末までの約5か月中国、北京聯合大学に留学していました。本来ならば、7月に帰国予定だったのですが、新型コロナウイルスの影響で緊急一時帰国をし、ウイルスが治まり次第もう一度中国に戻れると思っていたのですが、世界中に広まってしまい、戻ることなく留学期間が終了してしまいました。

人生の中で1年間も留学ができる機会はなかなかないことだと思います。なので、留学期間が短くなってしまいとても残念な気持ちですが、約5か月間でたくさんの人々と出会い、色々な経験ができたので、中国へ留学してよかったと思っています。

最終報告書では、中国へ留学したかった理由と、寮や授業の話、中国での生活の3つに分けて書いていきたいと思っています。

まず、私が中国への長期留学を応募した理由についてです。

私は入学する前から、留学に行きたいと考えていました。中国にした理由は、私が大学1年生のときに、高知県立大学へ長期留学をしていた中国人の交換留学生2人と仲良くなったことがきっかけです。また、第2外国語として中国語を学んでいたため、中国語にも興味があり、中国へ長期留学に行くことを決意しました。

次に、中国での寮と授業の様子についてです。

寮は男子寮、女子寮、留学生寮があり、私たちは留学生寮で生活していました。寮は大学のすぐ近くにあり、寮の中は、2人部屋と1人部屋があって、男子部屋の階と女子部屋の階で分かれています。各階に洗濯機とキッチン、冷蔵庫があるのでいつも利用していました。

9月から12月までが前期で、3月から6月までが後期なのですが、前期の授業は平日月曜日から金曜日の朝8時から11時45分まで中国語の授業を受け、後期は日本に帰国していたのでオンライン授業を受けていました。前期も後期もほぼ毎日宿題が出され、定期試験もありました。私のクラスは、総合中国語・リスニング・スピーキング／作文・長文読解の授業を受けていました。他にも、希望者は申し込みをすれば太極拳や書道などの授業を受けることもできます。

先生はみんな中国人で、中国語で授業も進めていきます。なので初めは本当に聞き取れず、とても大変でした。授業は、教科書と先生が作ったパワーポイントで進めていきます。

クラスメイトは、タイ人、韓国人、ドイツ人、カメルーン人、トルクメニスタン人など様々な国籍の人達がいる、一緒に授業を受けていました。私たちのクラスは、皆優しくとても明るい雰囲気です。11月に行事があり、留学生みんなで3泊4日の河南旅行へ行きました。そこで、また中国人以外の友達がたくさんできてとても嬉しかったです。

しかし、仲良くなるにつれ、話したいことがたくさん出てくるけれど、中国語で上手く伝えられず、また相手の言いたいことも完全に理解できるほどの中国語の能力がなく、言葉の大切さ、伝わらないもどかしさを度々感じていました。なので毎日授業の後は、宿題と復習をしていました。

次に、中国での生活についてです。私は、1回生の時に仲良くなった中国人の交換留学生と一緒に旅行で一度だけ北京に来たことがあったのですが、住むとなるとやはり、少し不安がありました。しかし、北京首都空港に到着すると、北京聯合大学の日本語学科の学生達が私達を迎えに来てくれており、寮まで一緒に来て、その日の夜ご飯も一緒に食べてくれるなど、たくさんお世話をしてくれたので、とても心強かったです。仲良くなった中国人の友達は、みんな「困ったことがあったらいつでも言って、助けになるから。」と言ってくれました。本当にその言葉がありがたく、実際に色々な所に連れて行ってくれたり、中国語を教えてくれたり中国人はとても情に厚い人が多いなあと感じました。

毎日私は、中国と日本、どのような部分が似ていて、またどのような部分が違っているのか、興味を持ちながら生活をしていましたので、なじみ深かったり、新鮮だったり、色々な発見をすることができました。また、中国は面積がとても大きく、歴史も長いということはもちろん知っていましたが、実際に目にしてみると、建物や空間の使い方、様々な部分で規模が違うなあと改めて感じました。北京の歴史的な建物、場所、色々な所に行ったけれど、私は、あまり歴史の知識がなかったので、中国語だけでなく、歴史も勉強したいと思いました。

食事は、よく食堂やすぐ近くにある飲食店で食べていました。とても安く、量もおかずの種類も多いので初めは、色々なものに挑戦して、お気に入りを見つけて食べていました。食堂は、朝昼夜営業しているので三食食堂で食べることができます。また、近くにスーパーがいくつかあるので、食材や日用品は基本的に何でもそろっており、不便はありませんでした。たまに、料理をする時はスーパーで材料を買って寮のキッチンで作っていました。中国は日本に比べて物価も公共交通機関の運賃も安いので色々なものを食べ、色々な所にも行きました。

また、中国では、キャッシュレス化が日本よりもかなり進んでいるので、スマホのみで財布を持ち歩かない生活をしており、お釣りのやり取りもないのでとても便利でした。

私は初めて親元を離れての生活でしたが、留学してみて、自分の身の回りのことや、自己管理もできるようになったと感じます。また、一緒に留学に来た福岡さん、北京の大学で出会った日本人のみんながいてくれたので、ホームシックには一度もならず、ずっと楽しく充実した生活が送れたと思います。

最後に、留学期間は短くなってしまったけれど、これまでとは違う環境、生活を過ごし、たくさんの経験、交流ができたと思います。言葉が通じない分、今まで感じたことのないもどかしさや不安さはありませんでしたが、私はこの留学で“恐れずに挑戦することの大切さ”を学びました。自分から行動しないと、何も始まらないと感じたので、この気持ちをこれから先も大事にし、たくさんの経験をしていきたいと思っています。また、引き続き中国語や歴史など、中国に関する知識を深めていきたいと思っています。

この留学中にたくさん支えてくれた、先生方、家族、友達にはとても感謝しています。ありがとうございました。



万里の長城



留学生寮



オリンピック公園



頤和園



北京動物園のパンダ



河南省旅行の時の集合写真